

## 第 91 回紫友まち歩き

### 名古屋城・犬山城と明治村

昨年、本丸御殿が復元された名古屋城と、江戸時代からの天守が保存されている国宝・犬山城、そして、広大な敷地に60棟を超える明治の建築物が移築されている明治村を1泊2日で訪ねる企画。当日、台風15号が東海地方を直撃するという予報があり、実行できるかどうか不安もあったが、我々にとっては運良く（関東地方には重大な被害が出たが…）、2日間とも好天過ぎるほどの好天で、むしろ暑さに苦しめられるほどだった。

**日時：2019年9月8日～9日（日、月曜日）**

集合：JR名古屋駅新幹線北口 11時00分

参加：10名（うち1名は9日のみ）

案内人：014 笠井尚紀

懇親会：「昭和食堂 犬山駅前店」

#### ◆「名古屋城・犬山城と明治村」行程

< 1日目……9月8日（日） >

名古屋駅⇒名古屋城本丸御殿⇒「金シャチ横丁」  
で昼食⇒犬山城⇒犬山シティホテル⇒懇親会場

< 2日目……9月9日（月） >

犬山駅⇒明治村⇒「明治の洋食屋」で昼食⇒犬山  
駅⇒名古屋駅（解散）

#### ◆まち歩きの報告（1日目……9月8日）

JRのシニア割引「ジパング」会員は「のぞみ」が利用できないので、各自「ひかり」や「こだま」を使って名古屋駅に集合。10時45分には全員が揃ったので、地下鉄で「市役所前」駅へ。35℃を超える暑さの中、お堀や石垣を見ながら本丸御殿に向かった。日曜日ということもあり、御殿の入口には列ができ、20～30人ずつ入れ



名古屋城（上）と石垣（下、キーストーン）



本丸御殿

る入場制限が行われていた。

ボランティアの人が説明してくれるのだが、ひどく暑い上に、一緒に移動する人の数が多く、だんだん息苦しくなったのか、我がメンバーは勝手に歩き始め、結局、ばらばらになってしまった。

とはいえ、調度品や襖絵、欄間の彫刻などは極彩色で豪華絢爛。わけても、上洛する家光公を迎えるために増築された「上洛殿」は息をのむほどのすばらしさだった。



復元された豪華絢爛な上洛殿一之間

1時間ほど見学し、昼食は城内の「金シャチ横丁」へ。味噌カツか？ 煮込みうどんか？などと迷った末に、席が空いていた「あんかけスパゲッティ」の店に入る。この店の特徴は、とにかく量が多いこと。スモールを頼むのが正解で、レギュラーを選んだ人は目を白黒させていた。



あんかけスパゲッティ (これでスモール)

食後は名古屋駅に戻り、名鉄特急で犬山へ。「お城までの距離が200m短い」というネット情報につられて、ひとつ先の「犬山遊園」で下車し、木曽川沿いの遊歩道を進んだ。暑い！ とにかく

暑い！ まもなく、城へと登る坂道に。40℃近い暑熱の中、急坂を上るのだから、つらさは筆舌に尽くしがたいものがあった。



上：犬山城に向かう木曽川沿いの道  
下：犬山城

城は現在修復工事中。天守の最上階へは登れない。だが、城内の階段は信じられないほど急で、「上る」というより「攀じ登る」感覚。両手で手すりをつかんでいないと転げ落ちそうだった。70代の老人にはきつくて、3階あたりまで来ると、「もう。これ以上は登りたくない」というのが本音。工事中で、かえってよかったのかもしれない(笑)。

帰路は犬山の城下町。古い町並みが保存され、両側に時代風の店が並んでいるが、暑さと疲労でのぞく気にもなれない。よろよろ歩いて、予定より早い4時過ぎにはホテルに到着。6時15分にロビー集合とし、それまでは部屋でシャワーを浴び、休むことにする。「よかった！」「助かった！」という顔が印象的だった。



6時30分から「昭和食堂 犬山駅前店」で懇親会。今回、下見をしていない案内人は、ネットで「昭和食堂」の名を見て、「ローカルならではのレトロなシブい店」と想像し、予約した。だが、行ってみれば、どこにでもあるチェーン店と変わらない店づくりでがっかり。ま、入ってみれば一応は個室で、それほど悪くはなかったが…。びっくりしたのは料理の数。「これでもか!」というばかりに大皿が運び込まれ、それも、揚げ物が多い。昼も昼だったので、早々と降参してしまった。



「昭和食堂」という名前はよかったのだが……

ここで、ちょっと面白いエピソード。日本酒にこだわるY氏が、店の女の子に「爛酒をちょうだい」と注文すると「あの～“かんざけ”はないんですけど…」と当惑顔。「日本酒を温めればいいんだから、ないはずないでしょう」と詰め寄るY氏。「温めればいいんですか?」と、なおも当惑顔の店員。「わかった、ちがうだよ」と笑いこける一同。店員は「爛酒」がわからず、「缶酒」と思っていたのだ。ま、居酒屋に「缶に入っ

た日本酒」はないかもしれないが、とんだ“カン違い”。「最近の子は爛酒も知らないのか」と嘆くY氏。時代ですね。

会は9時前に終了。何人かは犬山駅まで歩き、明日のバス乗り場を確認したり、コンビニで酒を買ったりして、ホテルに戻る。その後、Sさん、Tさん、Kさんが案内人の部屋に集まり、4人で2時間ほど酒盛り。ビールを買い込んでいたYさんが来なかったのは不思議だったが、ベッドに倒れ込んで眠ってしまったとのことだった。

### ◆2日目……9月9日(月)

翌9日の朝は、8時40分にチェックアウト。駅前からバスで明治村へ。入村料金は、大人1700円だが、シニアは1300円。あ、免許証を忘れた! 幸い、“どこから見ても超高齢者”の容貌のおかげでカンベンしてもらえた(涙)。

まず、正門から村内バス(500円券で乗り放題)に乗り、いちばん奥の「旧帝国ホテル」へ向かう。フランク・ロイド・ライトが設計した名建築だ。



ここで集合写真を撮り、あとは自由行動。近くの「金沢監獄」に向かう者、ステンドグラスが

美しい「聖ザビエル天主堂」をめざす者など、思い思いの方向へと散って行った。再び集合したのは「明治の洋食屋 浪漫亭」。昨夜は昭和で、今日は明治だ。酷暑の中を歩き回ったので、ビールのうまいこと。期待していた「明治のカレーライス」は、辛くもなく、甘くもなく、ぼんやりした味だった。明治は遠くなりにはけり、か。



明治の洋食屋 浪漫亭

午後1時、この場所で全予定を終了し、解散。だが、40℃近い暑さの中、これ以上歩き回る気力もなく、全員、同じバスと名鉄の特急に乗り名古屋

駅へ。ここで本当の解散となった。

「ジパング」の関係と、小田原か三島停車を望む者もいたことから、4時半過ぎの「ひかり」に席を取った5人（倉林、吉田、横山、武馬、笠井）は、駅地下のソバ屋で時間つぶしの酒盛り。店の日本酒を片っ端から飲み比べるなどして、愉快に過ごした。ここで日本酒にこだわる某氏、このソバ屋にゆかりがある酒蔵の「ルミ子のお酒」という銘柄を試飲して、ぞっこん。ラベルに描かれた艶っぽいルミ子さんの姿にも魅了されたらしく、酒蔵の連絡先をメモしていた。この分では、「ルミ子のお酒」を取り寄せて、例の池袋の「ふじ」で、当会の名うての呑み助たちと、味わうことになるかもしれない。いつぞやの「風の森」のように。



「るみ子のお酒」



旧帝国ホテル前にて記念撮影